赤字：記入例

申請書 1～2 ページの「申請書情報」は、「電子申請システム」より作成してください。

令和5年度採用分 若手研究者海外挑戦プログラム 申請書 No.

第 版

(申請書情報)

受付番号			
審査区分	① 書面合議審査区分		
	② 書面審査区分		
	③ 小区分名		
	④ 小区分コード		⑤ 専門分野

⑥ 研究課題名	(和文)		
	(英文)		

1. 申請者情報等 (所属機関コード:)

⑦ 氏 名	登録名	(フリガナ) (姓) (名) (漢字等) (姓) (名)
	入学年月	(西暦) 年 月 日 入・進学/入・進学予定
⑧ 大学院 博士課程 (在籍または 在籍予定)	大学名	京都大学 (14301)
	研究科名	文学研究科 (0001)
	課程種別	博士課程 (3年制)
⑨ 学歴 (学部、修士、 博士)	1. 2019年3月 京都大学○○学部卒業 2. 2019年4月 京都大学大学院○○研究科 修士課程 入学 3. 2022年3月 京都大学大学院○○研究科 修士課程 修了 4. 2022年4月 京都大学大学院○○研究科 博士課程 進学	
	⑩ 研究・職歴等	1. 2022年4月～2025年3月 DC1申請・採用 (受付番号)
⑪ 派遣を希望する期間	(西暦) 年 月 日 ～ (西暦) 年 月 日 (日間)	
⑫ 派遣国		
⑬ 大学院博士 後期課程 における 研究指導者	氏 名	(フリガナ) (姓) (名) (漢字またはローマ字) (姓) (名)
	科研費 研究者番号	
	所属機関名	京都大学 (14301)
	部 局 名	人文科学研究所 (0245)
	職 名	

※ (英文) と指定された項目以外は全て日本語で記入すること

- ⑧-研究科 : 専攻名は不要。学籍上の所属(研究科等)を記入すること。
× 研究所 × センター
- ⑧-課程種 : ・ 医学研究科(医学専攻、マギル大学ゲノム医学国際連携専攻) / 薬学研究科(薬学専攻)
⇒ 「博士課程(医・歯・薬・獣医学系4年制)」を選択。
・ アジア・アフリカ地域研究研究科 / 総合生存学館
⇒ 「博士課程(5年一貫制)」を選択。
・ 上記以外の研究科
⇒ 「博士課程(3年制)」を選択。
- ⑨ 学歴 : 西暦で記入すること。⑧ 大学院博士課程と相違ないようにすること。
- ⑩ 研究・職歴等 : 西暦で記入すること。特別研究員採用歴がある場合は、以下の例に従って記入すること。
特別研究員の受付番号は 9 桁です。
例 1 : 2021 年 4 月～2024 年 3 月 DC1 申請・採用 (202100000)
例 2 : 2022 年 4 月～2024 年 3 月 DC2 申請・採用 (202200000)
- ⑬-職名 : 数の身分を兼ねている場合は、原則として本務について記入すること。

⑭海外における 受入研究者	氏名	(FAMILY NAME) (英文) KYOTO	(First Name) Hanako	(Middle Name) K.
		海外受入研究者が日本人の場合、入力して下さい。 (漢字等) (姓) (名)		
	職	(英文)	(和文)	
	受入機関名	(種別) 大学 / 国公立試験研究機関 / 非営利の民間研究機関		
		(英文)	(和文)	
受入部局名	(英文)			
	(和文)			
⑮評価書作成者	氏名	(フリガナ) (姓) (名) (漢字またはローマ字) (姓) (名)		
	所属機関名			
	部局名			
	職名			
⑯ 研究活動における主な使用言語	英語、フランス語			
⑰外国での研究遂行能力について(語学能力の確認)	英語..... フランス語.....			
⑱海外における研究・留学歴 (1か月以上海外で研究に従事した経験がある場合に記入してください。語学研修など研究以外の海外滞在は含みません。該当がない場合は「該当なし」と記入してください。)	訪問先: 目的:	該当無し		
	期間:(西暦) 年 月 日 ~ 年 月 日			
	訪問先: 目的:			
	期間:(西暦) 年 月 日 ~ 年 月 日			
	訪問先: 目的:			
	期間:(西暦) 年 月 日 ~ 年 月 日			

※(英文)と指定された項目以外は全て日本語で記入すること

- ⑭氏名:FAMIL NAMEは全て大文字、First Name及びMiddle Nameは最初の文字のみ大文字で、以降は小文字とすること。
ただし、Middle Nameについては、アルファベットのイニシャルと省略記号「.」で表記すること。
例: Middle Nameが「Kyodai」なら、「K.」と表記。
- ⑯: 複数回答可。
- ⑰: ⑯で記入した全ての言語について記入すること。例えば、⑯において「英語、フランス語」と記入した場合、⑰においても英語、フランス語どちらも記入すること。
- ⑱: 1か月以上海外で研究に従事した経験がある場合に記入(語学研修等、研究以外の海外滞在は含まない)。
3件以上ある場合は、渡航期間の長い主要なものを優先すること。
該当がない場合は、「該当なし」と記入すること。

2. 派遣先における研究計画

(1) 研究の位置づけ

(適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記述してください。様式の改変・追加は不可(以下同様))
若手研究者海外挑戦プログラムの採用者として取り組む自身の研究の位置づけについて、当該分野の状況や課題等の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯も含めて記述してください。
研究の成果物等を引用する場合は、申請書作成要領の8ページを参照し、それらを同定するに十分な情報を記入してください。

【P. 3～P. 4まで共通】

- ◆原則日本語で記入すること。
- ◆10ポイント以上の文字で記入すること。
- ◆記入しない項目の省略等、様式の加工・変更、ページ数の変更不可。余白設定の変更も不可。
- ◆申請内容ファイルを含む申請書一式はモノクロ(グレースケール)印刷を行い審査委員に送付するため、印刷した際、内容が不鮮明とならないよう留意すること

「(1) 研究の位置づけ」欄に研究の成果物等を記載する場合

- ・申請者の氏名にはアンダーラインを引くことを推奨
- ・研究発表、学術雑誌等への発表論文について記載する場合は、査読の有無を記入すること
- ・研究発表は、口頭/ポスターの別を記入すること

(2) 研究目的・内容等

- ① 若手研究者海外挑戦プログラムの採用者として取り組む研究計画における研究目的、研究方法、研究内容について記述してください。
- ② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのかを、具体的に記入してください。
- ③ 共同研究の場合は、申請者が担当する部分を明らかにしてください。

(3) 外国で研究することの意義(派遣先機関・指導者の選定理由)

- ① 申請者のこれまでの研究と派遣先機関(指導者)の研究との関連性及び受入準備状況について記述してください。(※採用された場合は受入承諾書の提出を求めます。)
- ② 内外の他研究機関(研究者)と派遣先機関(指導者)とを比較し、派遣先での研究に挑戦する必要性や意義について明らかにしてください。(フィールドワーク・調査研究を行う場合、派遣先地域で研究する必要性や意義を中心に述べても構いません。)

【P. 3～P. 4まで共通】

- ◆原則日本語で記入すること。
- ◆10ポイント以上の文字で記入すること。
- ◆記入しない項目の省略等、様式の加工・変更、ページ数の変更不可。余白設定の変更も不可。
- ◆申請内容ファイルを含む申請書一式はモノクロ(グレースケール)印刷を行い審査委員に送付するため、印刷した際、内容が不鮮明とならないよう留意すること

申請書5ページの「評価書」は、「電子申請システム」より作成してください。

若手研究者海外挑戦プログラム申請者に関する評価書

評価書作成者	氏名	ヒョウカ タロウ 評価 太郎
	所属機関名	〇〇の研究機関
		〇〇〇〇〇〇 (XXXXXX)
	部局名	〇〇〇〇〇 (XXXX)
職名	〇〇〇 (XXX)	
申請者との関係	現在の受入研究者	
<p>申請者の(1)「研究者としての強み」及び(2)「今後研究者として更なる発展のため必要と考えている要素」のそれぞれについて、具体的に入力してください。</p> <p>また、申請者の研究者としての能力・将来性を判断する上で特に参考になると思われる事項についても入力してください(例：特に優れた学業成績、受賞歴、飛び級入学、留学経験、特色ある学外活動など)。</p> <p>コメント コメント コメント コメント コメント</p>		

※申請者へは評価書が提出されたことが通知されますが、
評価書の内容を確認することはできません。